

出資法人等評価・カルテシート（平成 31 年度分）

1 出資法人等の概要

団体名	一般財団法人豊中市医療保健センター		
所在地	豊中市上野坂 2 丁目 6 番 1 号	所管部局・課	健康医療部 健康政策課
設立年月日	昭和 49 年 3 月 27 日	代表者	理事長 足立 佐知子
基本金・資本金	10,000,000 円	うち市出資額（率）	5,000,000 円（50.0%）
設立目的	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、豊中市薬剤師会及び豊中市の連携に基づき、豊中市の地域医療体制を確立し、もって地域住民の健康の維持及び福祉の充実を図り、公益の増進に寄与することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年 4 月 1 日現在

		H29			H30			H31		
		市職員	市 OB		市職員	市 OB		市職員	市 OB	
役員	常勤	0	0	0	0	0	0	2	0	1
	非常勤	11	3	1	10	3	0	10	3	0
職員	常勤	65	9	0	56	0	0	54	0	0
	非常勤	120	0	1	119	2	2	126	2	1
役員の平均年間報酬（H30 年度、千円）※常勤のみ		*			職員の平均年間給与（H30 年度、千円）・平均年齢 ※常勤のみ			6,152 千円・46.5 歳		

※非常勤職員には、非常勤嘱託職員である休日等急病診療等に従事する医療従事者を含む。

3 財務関係

		金額（千円）		
		H28	H29	H30
損益計算書	総収入	943,522	958,623	921,976
	（うち市受入金）	258,314	298,263	329,167
	総費用	973,363	1,007,921	995,420
	経常損益	▲30,918	▲74,181	▲91,372
	当期損益	▲29,841	▲49,298	▲73,444

		金額（千円）		
		H28	H29	H30
貸借対照表	資産の部合計	551,878	536,890	485,092
	負債の部合計	218,697	253,007	154,430
	（うち有利子負債）	0	0	0
	純資産	333,181	283,883	210,438
	利益剰余金	330,181	280,883	207,438

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H28	H29	H30	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	—	—	—	
	事業費	—	—	—	
	運営費	—	—	—	
	委託料	105,306	114,240	117,796	休日等急病診療事業、障害者歯科診療事業 二重読影会事業、地域包括支援センター事業
	指定管理委託料	0	0	0	
	その他	153,008	184,023	211,371	負担金
計		258,314	298,263	329,167	
ストック	貸付金残高	0	0	0	
	債務保証残高	0	0	0	
	損失補償残高	0	0	0	
	出資金	0	0	0	
	その他	5,000	5,000	5,000	出捐金 5,000 千円のうち、1,500 千円が基本財産
	計	1,500	1,500	1,500	

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H28	H29	H30
休日等急病診療事業	休日等における豊中市内の初期救急医療機関として、内科・小児科・歯科の診療を行う。	受診者数	5,296 人	6,157 人	6,326 人
障害者歯科診療事業	心身に障害があり、一般の歯科医院での治療が困難な患者を対象に歯科診療を行う。	受診者数	2,086 人	1,991 人	1,926 人
在宅ねたきり者等訪問歯科診療事業	在宅でねたきりの状態にあり、歯科医院への通院が困難な患者を対象に、居宅に訪問して歯科診療を行う。	受診者数	255 人	225 人	232 人
保健・福祉施設訪問歯科診療事業	豊中市内の保健・福祉施設に入所しながら歯科診療を必要とする患者を対象に、訪問歯科診療を行う。	受診者数	836 人	878 人	977 人
介護老人保健施設事業	自立した日常生活に必要な身体の機能回復を目的に、高齢者の機能訓練を行う介護老人保健施設を指定管理者として運営する。	入所者数 通所者数	入所者 34,653 人 通所者 7,946 人	入所者 33,823 人 通所者 8,075 人	入所者 31,554 人 通所者 7,683 人

7 経営改革の取り組み（平成 30 年度）

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
経営改善への取り組み	<p>「経営改革プラン」に基づき、「人づくり・組織づくり、事業・業務の見直し、地域における新たな役割の確立、財務体質の改善」といった視点からの課題解決に対する取り組みを進めてまいりました。</p> <p>「人づくり・組織づくり」の視点からは、「人材育成基本方針」を策定し、職員への周知を図ってまいりました。</p>	<p>引き続き、経営改革プラン推進委員会による進行管理のもと、戦略的取り組みを押し進めてまいります。</p> <p>「人づくり・組織づくり」については、人材育成基本方針に則った評価基準を明確なものとするため、更に検討を深めていくとともに、法人の活性化につながる組織体制の検討を行ってまいります。</p>
事業・業務の見直し	<p>事業の見直しについては、「経営改革プラン」に掲げる「地域における新たな役割の確立」の視点から、当センターの設立趣旨を踏まえ、次の取り組みを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民の健康意識の高揚を図り、市民健診やがん検診、特定健診の受診率向上に寄与することを目的として、健康教育の充実を図るため、市民向け健康セミナーの試行的開催 ● 看護専門学校別館を活用した、医療・介護等の人材育成支援のための事業を協働して行う事業者の募集 <p>また、業務の見直しに関しては、それぞれの部署が抱える課題を、部署内で解決するものと部署をまたいで法人全体で解決するものとに整理し、取り組みを進め、部署単位で改善の図ることのできる課題については、自発的な改善提案を受け、内部での解決を進めました。</p>	<p>試行的に実施した、市民向けの健康セミナーについては、実施目的の達成に向け、がんや生活習慣病などをテーマにしながら、定期的実施することとし、より多くの人に参加してもらえよう広報の方法等について、工夫を重ねてまいります。</p> <p>看護専門学校別館を活用した、医療・介護等の人材育成支援のための事業については、選定した事業者との協働実施に向け、協議しながら進めてまいります。</p> <p>また、業務の見直しに関しても引き続き部署内での課題解決の取り組みを進めてまいります。</p>
収益の確保	<p>所管事業のうち、指定管理業務の割合が高いことから、介護老人保健施設事業及び同施設内で実施する居宅介護支援事業における収益の確保策に取り組んでまいりました。平成 30 年度の介護報酬の改定では、リハビリテーションの提供体制が評価されるようになりましたが、人材確保に難渋したことに加え、診療報酬改定の影響で、病院からの入所者が減少したことで、稼働率の低迷を余儀なくされました。</p> <p>居宅介護支援事業では、平成 29 年度から引き続き黒字運営ができております。</p> <p>休日等急病診療事業では、冬季のインフルエンザ等の流行による急激な患者数の</p>	<p>豊中市立介護老人保健施設については、指定管理者制度のもとで実施する最後の年度となることからサービス水準の維持を図りながら収支改善に努めるとともに、新たに施設の開設者となって事業を継承される法人への引継ぎを円滑に進めてまいります。</p> <p>法人で実施する事業については、引き続き効率的かつ安定的な運営に努めるとともに、法人の設立趣旨を踏まえたうえで、新たな収益機会の確保につながる持続可能な事業の検討を進めてまいります。</p>

	増加に対応するべく、速やかに診療体制及び医薬品等の確保に努めるとともに新発薬品を採用し、患者の利便性を向上させながら効率的な診療を提供いたしました。	
--	--	--

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
必要性 ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか	<p>診療所の各事業は、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の歯科医院での治療または通院が困難な患者のセーフティネットとして、より充実が求められる状況となっています。</p> <p>介護老人保健施設事業は、指定管理者として、豊中市の介護保険事業や高齢者保健福祉施策を十分理解し、利用者が安心して医療・介護サービスを受けられるよう施設運営を行っています。</p>	<p>診療所の各事業においては、今後も患者数の動向に応じた、適切な診療体制の確保など、効果的な医療を提供します。</p> <p>看護専門学校閉校後の施設の有効活用に関しては、当法人の設立趣旨に則り、市民ニーズに合致した新規事業の絞り込みに取り組んでまいります。</p>
効率性 ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か	<p>業務内容の精査を行い、適切な職員配置に努め、効率的かつ効果的な事業運営に取り組んでおります。</p> <p>人件費構造の再構築の必要性を意識し、人件費の適正化が図られるような仕組みづくりのための検討を行っています。</p>	<p>引き続き人件費及び管理経費の見直しに取り組み、経費の縮減を図ってまいります。</p> <p>人事給与制度の見直しについては、経営改革プランを推し進めていくなかで、「人材育成基本方針」の職員への周知、人事給与制度に反映させていくための評価基準の検討等より具体的な作業に取り組んでまいります。</p>
有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか	<p>設立の背景から、医師会、歯科医師会及び薬剤師会と有効に事業連携ができています。</p> <p>行政と連携して、災害対策の拠点の一つとなり地域のセーフティネットの一部を担うことも想定され、ますます重要となっています。</p>	<p>三師会、市との連携を一層強化し、地域医療の拠点の一つとして機能を高めてまいります。</p>
総合評価	<p>施設内に三師会の事務所があり、意思決定の拠点となっていることから、連携拠点として優位性を保っています。</p> <p>事業実施については、自己の施設、独自のノウハウ及びネットワークを活かし、安定的な体制を維持するとともに効率的に、高いサービス水準を維持しています。</p>	<p>地域医療体制の確立が支える医療・介護分野におけるセーフティネット機能に対する市民の期待は、今後も増大することが見込まれます。さらに、社会情勢の変化に伴う課題の複雑化に備え、法人運営のマネジメント強化を図り、これらの課題に対処できるよう体制を確保するとともに人材を育成していく必要があります。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資目的は薄れていないか ・ 市の施策の方向性に適合しているか 	<p>診療所の各事業は、豊中市の地域医療体制を確立し、地域住民の健康を維持する目的を踏まえ、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の歯科医院での治療または通院が困難な患者のセーフティネットとして、市民の健康を守るものとして重要なものとなっています。</p> <p>介護老人保健施設事業についても、指定管理者として、豊中市の介護保険事業や高齢者保健福祉施策を十分理解し、利用者が安心して医療・介護サービスを受けられるよう施設運営を行っています。</p>	<p>診療所施設の設備や備品の老朽化、利用者数が横ばいになっていることにより、今後どのようにサービスを提供するかが課題となっています。</p> <p>また、地域医療、地域保健について変化するニーズにどう対応していくかが課題となっています。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資法人等を活用するメリットはあるか ・ 出資法人等にしかできないことか 	<p>施設内に三師会の事務局があることにより、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与するための連携拠点となっています。また、医療と介護、福祉をつなぐ連携拠点としての機能も併せもって活動を行っており、自身のメリットを活かしながら事業を行っていると考えます。</p>	<p>今後も、三師会の事務局が施設内にあるメリットを活かし、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与する連携拠点として、医療と介護福祉をつなぐ連携拠点として、活動を進めてもらいたいと思います。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・ 市の関与は適切か 	<p>休日等急病診療、障害者（児）歯科診療事業により、地域住民の健康を守ることに、第4次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」の推進に寄与していると考えます。</p>	<p>引き続き、第4次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」に寄与できるように、休日等急病診療、障害者（児）歯科診療事業の充実を図ってもらいたいと思います。</p>
<p>総合評価</p>	<p>豊中市と三師会の出資による法人として、各々と協力しながら地域住民の健康と福祉を増進するために事業を行っていることは評価します。</p> <p>一方、自己評価にあるように人件費構造の再構築の必要性を意識して、人件費の適正化を図ることについては不十分であると考えます。</p>	<p>豊中市と三師会の出資による法人としてのメリットを活かし、今後も相互に連携を図りながら現行の事業だけでなく、他に何か自分たちにできることはないのかを考えて事業を進めてもらいたいと思います。</p> <p>人件費の適正化等の課題については、具体的な対策について検討を行い、速やかに作業を進めてもらいたいと思います。</p>